

預貯金照会を電子化

10分で500件処理

福島信金

【仙台】福島信用金庫（福島県、樋口郁雄理事長）は、行政機関向け業務の電子化で成果をあげている。4月に福島県福島市との間でNTTデータの預貯金等照会業務電子化サービス「ピットリンク」を使ったシステムを稼働。他自治体にも

広げたい考えた。預貯金等照会業務は、行政機関の依頼で顧客の取引状況を回答。税金滞納者の資産把握や生活保護の受給判定に使われている。同信金には毎月約2千件の依頼があり、紙ベースでの処理に多くの時間や人手がかかっていた。

福島市は2020年4月から、県内地域銀行3行（東邦・福島・大東）との間で紙が不要となるピットリンクを活用した預貯金調査を始めていた。

電子化の成果は大きく、従来は手作業で100件の調査に5時間を要していたが、現在は約500件を10分程度で自動処理。保管文書の削減や事務ミスの低減にもつながり、業務効率化に寄与している。